

平成29年度 第4回西蒲警察署協議会議事概要

開催日時	平成30年2月21日（水）午後4時00分から午後5時30分まで		
開催場所	西蒲警察署講堂		
出席者	委員 (定数8人)	丸山会長、高井副会長、石添委員、中原委員、 長谷川委員、廣川委員、山上委員 (会長・副会長以下50音順)	計7人
	警察	澁谷署長、渋谷副署長、原警務課長、 清野生活安全課長、伊藤地域課長、 村山刑事課長、佐藤交通課長、警備課長	計8人

管内の治安情勢

署長から、平成29年12月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

各担当課長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 彌彦神社二年参り・初詣における雑踏事故防止対策の推進

12月31日(日)から1月3日(水)までの間、体制を強化して雑踏警備を実施した結果、事件事故等の発生はなく、所期の目的を完遂した。

2 街頭犯罪抑止対策の推進

(1) 街頭活動の推進

年末における金融機関及びコンビニエンスストアに対する警戒活動を強化し、犯罪を起こさせない活動を推進した。

(2) 鍵掛け広報の推進

高齢者世帯に対する訪問や地元ラジオ局の番組出演、地区民生委員・児童委員協議会における防犯講話等を通じて、無施錠率が高水準であることや鍵掛けの重要性を周知し、盗難被害防止を呼び掛けた。

(3) 検挙活動の強化

深夜時間帯における犯罪検挙活動を強化した。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 特殊詐欺被害防止対策の推進

(1) 現状

管内では、昨年中3件306万円の被害が発生したが、前年比マイナス3件、被害額はマイナス681万円であった。

(2) 被害防止対策

ア 広報啓発活動の継続実施

「犯人から電話を受けない対策」、「だまされないための対策」、「だまされたとしても犯人にお金を渡さない対策」について、防犯講話等を通じて広く浸透を図る。

イ 関係機関、団体等と連携した被害防止対策の推進

行政機関を始め、水際対策の要である金融機関やコンビニエンスストアとの連携を強め、特殊詐欺の手口の情報提供や声掛けの強化など、特殊詐欺被害防止対策の協力要請を推進する。

ウ 捜査の過程で押収した名簿を活用した被害予防対策の推進

名簿登載者に対する電話や訪問による防犯指導を実施する。

2 通学路の安全確保と悪質交通違反取締りの強化

(1) 通学路における安全点検と交通安全教育の推進

ア 自治体・学校等と協働して通学路の安全点検を実施し、安全対策が必要な箇所について協議・補修するとともに、各小・中学校において、新入学児童に対する安全教育を実施する。

イ 通学路における交通指導取締りの強化

春の新入学(園)シーズンに合わせ、通学路における交通指導取締りや街頭活動を強化する。

(2) 飲酒運転を始めとする悪質交通違反取締りの強化

交通事故の発生実態を分析の上、交通事故に直結する悪質な交通違反の取締りを強化する。

諮問に対する意見・質疑等（○は署長等の説明）

1 通学路の安全確保の関係であるが、小学校低学年の児童は、信号機の交差点を渡るときに信号機しか見ておらず、信号が青になると左右の安全を確認することなく一斉に渡り始めている。朝の通勤時間帯は交通量も多いため、非常に危険であることから児童に対する交通安全指導が必要であると考えが。

○ 駐在所や交番勤務員は、朝夕の街頭監視活動を通じて、交差点の安全な渡り方等について直接指導を行っているほか、各小学校に対する交通安全教室では模擬信号機を活用して指導を行っています。また、パトカーの機動力を生かして赤色灯を点灯したパトロールを実施するとともに、車載マイク活用した交通事故防止広報を行っています。今後も児童生徒が交通事故に遭わないよう、諸対策を継続していきたいと思います。

2 今年は雪が多く降ったため、国道の交差点においても、国道を横断する道路の除雪が行われておらず、物理的に車が通行できない交差点があったが、信号機はそのまま作動している状態であり無駄だと感じた。

○ 大雪により道路管理者としても除雪が間に合わない状況が続きました。道路管理者から一定期間の通行止め等の連絡があれば、信号機の運用停止も検討しますが、除雪が間に合わない等、一時的な通行止めであったため、そのままの運用になりました。道路管理者との連携を図り、必要であれば点滅運用も検討したいと思います。

3 私の居住する地域は、車庫証明が必要ない地域であるが、自宅に駐車スペースがないにもかかわらず、何台も自家用車を所有していることから、どうしても路上駐車が多くなり、除雪の障害となっている車も多い。警察としてこのような迷惑車両に対する取締りは可能か、また、路上駐車をなくすために、将来的には車庫証明を必要とする地域としたいがいかがか。

○ 警察としても、道路交通法に基づき迷惑性の高いものについては取締りを実施していますので、通報をお願いします。車庫証明の関係については、法律で車庫証明が必要な地域、必要ない地域が定まっていることから、現行では法律を改正するしか方法がありません。

答申

西蒲警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり各種施策を積極的に推進するよう答申した。

意見・要望・質疑等(○は署長等の説明)

1 最近、パトカーが赤色灯を点灯してパトロールをしている姿をよく見掛けるが、パトカーの赤色灯を見ると、「運転に気を付けよう。」と思う人が多く、交通事故防止のために効果的であると感ずるので、今後も継続してほしい。

○ 交通事故や犯罪が発生しないように、注意喚起のために赤色灯を点灯してパトロールを行っています。今後も継続して実施していきたいと思います。

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

【協議会開催状況】

